



## 年頭のごあいさつ



### 「コロナウイルス禍」と「人間万事塞翁が馬」

いしかり市民カレッジ運営委員会  
委員長 林 一元

皆様お元気で新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスに明け暮れた一年であったように感じます。その脅威は未だ収まっておらず、その対応に不安と戸惑いを感じながらの日々かとお察しします。しかしながら、コロナウイルス禍が「人間万事塞翁が馬」のことわざのように、これを貴重な体験ととらえ、その経験をより充実した生活実現に生かされることを願っております。

当カレッジでは予定講座の中止延期をはじめ、受講者数の制限、マスクの着用など、皆様にはご迷惑・ご不自由をお掛けしておりますが、これからも出来る限りより良い学習機会・学習情報の提供に努めてまいりますので、変わらぬご支援よろしくお願いたします。

末尾になりますが、ご自愛されて健康な日々を送られますようお祈り申し上げます。

## 令和2年度最終講座紹介

新型コロナ拡大の影響で中止もありえます。その場合は、受講申込者へ速やかにお知らせいたします。

### 講座14「考えよう石狩市のエネルギー ～再生エネルギーと風力発電～」(受講者提案講座)

第1回 新しいエネルギー社会への挑戦～エネルギー・経済・雇用について考える～

講師 石狩市エネルギー地産地消事業化検討会委員長・北海道職業能力開発大学校長 近久 武美

日時 1月19日(火) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第2回 新しいエネルギーとしての風力発電を考える

講師 NPO 法人北海道新エネルギー普及促進協会理事長 山形 定

日時 1月26日(火) 10:30～12:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

石狩湾新港地域においては、液化天然ガスのLNG基地をはじめとしたエネルギーの集積が進んでおり、既に多数の風力発電所が建設され稼働しています。今後、洋上風力発電所の建設も予定されています。本講座では、第1回目で現在のエネルギー事情、特に石狩市の状況について学びます。また、第2回目では、風力発電を始めとする“再生エネルギー”について学び理解を深めます。

### まちの先生企画講座4「プロが考える人生の棚卸～『知って始める』終活連続講座～」

講師 行政書士・お墓ディレクター・供養コンシェルジュ 松尾 拓也

時間 13:30～15:00 場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第1回「知って備える」相続リスクと対処方法 期日 1月15日(金)

第2回「知って考える」お墓の種類と選び方 期日 1月22日(金)

第3回「知って取り組む」長生き時代のリスクと対処方法 期日 1月29日(金)

終活は人生の棚卸。プロの講師により、気になっているがよく分からないモヤモヤ(相続、お墓、長寿の問題等)を「スッキリ」させて、これからの人生を自分らしく余裕をもって楽しく「エンジョイ」しましょう。

## 第22回修了証授与式

## 3月実施予定

令和2年度修了証授与式を3月に予定しています。カレッジ生の皆さんは「学びの記録」を確認し、規定回数に達した方は「申請書」を1月中に事務局へ提出してください。実施日時等は、後日お知らせいたします。

### 市民カレッジデータ

(12月24日現在)

○登録者～148人

○連携団体～106団体



ロゴ制作者

丸山英里子さん

# 令和3年度講座概要まとまる～魅力ある講座を目指して

## 主催13講座 27回(現地見学12回)・まちの先生4講座 12回

いしかり市民カレッジでは、令和3年度の講座について数次にわたる会議を開き検討を行ってまいりましたが、このほどその全体概要がまとまりました。

このうち主催講座については新型コロナウイルス感染拡大により令和2年度の開催が中止となった7講座がそのまま持越しされることとなったほか、新たな提案や受講者提案講座を含め、ほぼ昨年並みの13講座27回で開催する方向となりました。バスを使用した現地見学も12回ほどが企画され、座学とともに魅力のある講座を目指しています。

また、まちの先生企画講座は、令和2年度に実施出来なかった1講座に新たな3講座を加えて4講座を予定し、バラエティーに富む内容となっていますので、ご期待下さい。

今後、講座名や講師・日程等の詳細な内容を詰めた上、順次「あい風通信」や「いしかり市民カレッジ」のホームページ等を通じてお知らせいたします。次年度は新型コロナウイルス感染の終息により、数多くの皆さんの参加を得て予定通り開催できることを切に願っております。

### 《令和3年度主催講座》

- ① 「三船殉難事件～忘れてはならない終戦後の悲劇」(※)
- ② 「発展する石狩湾新港の役割Ⅱ」(※)
- ③ 「がん治療とその先進医療技術の現状を知ろう！」
- ④ 「石狩市に残る歴史遺産」(☆)
- ⑤ 「石狩浜の漂着物から地球が見える」(※)
- ⑥ 「石狩を繁栄させた宝船～北前船」
- ⑦ 「石狩歴史散歩～花畔地区、北生振・高岡地区～」(※)
- ⑧ 「ウポポイと仙台藩白老元陣屋資料館を訪ねて  
～白老町の歴史とアイヌの歴史と文化を再認識する旅～」(※)
- ⑨ 「日本遺産と炭・鉄・港めぐり～旧住友赤平炭鉱を訪ねて」(※☆)
- ⑩ 「大人の社会見学～篠津泥炭地開発を学ぶ～」(※☆)
- ⑪ 「北海道の水産と漁村」
- ⑫ 「私たちの身近な野鳥との共生を考える～長きにわたる野鳥観察を通じて見えること」
- ⑬ 「流通最前線の今を知る～最近の食品の消費・流通動向と企業戦略～」

講座名末尾の※は2年度中止講座、☆は受講者提案講座です。



### 《令和3年度まちの先生企画講座》

- |                          |    |       |    |
|--------------------------|----|-------|----|
| ① 「銅像を通して北海道開拓の先達者を点描する」 | 講師 | 武石 詔吾 | 3回 |
| ② 「イチゴを摘んで手作りジャム作り」(※)   | 講師 | 萬年 静代 | 2回 |
| ③ 「ダッチオープンで作る野外料理」       | 講師 | 新津 賢二 | 3回 |
| ④ 「家庭菜園の土の健康診断をしてみよう」    | 講師 | 松中 照夫 | 4回 |



萬年静代さん画

## “カレッジ生募集中” ～お仲間を増やしませんか！

カレッジ生の皆さんは、市民カレッジの講座の面白さ、充実度は充分感じていらっしゃると思いますが、講座を受ける楽しみは、一人より二人、二人より三人で受ければさらに増すものです。今年は、皆さんのまわりの方でまだカレッジに入っていない方を誘って是非一緒に講座を受けてみては如何でしょうか？ “講座を受けた後に、コーヒーを飲みながら感想を語り合う” そんな素敵な時間が持てるかもしれません。昨年は、新型コロナ感染拡大で、ややもすると「孤」になりがちな年でした。

今年は、仲間と連れ合う年にしたいと思います。

## “運営スタッフ募集中”

いしかり市民カレッジの運営は、現在19名のボランティアスタッフで行っていますが、まだまだやりたいことがたくさんあるのに現スタッフ数ではなかなかこなせません。講座の企画、PR、情報紙の編集、ホームページの管理など様々な活動の中で、あなたにふさわしい活動がきっとあります。お気軽に声をかけて頂き、スタッフとして活動してみませんか！



## 受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいた感想・ご意見を要約して紹介しています

### 講座4「姿勢と歩き方と健康との関係について」

「今年度初の講座で、しっかりとコロナ禍対策を心掛けて段取り準備をして下さり、大変すばらしい内容の健康の学びが出来、とても良かったです」「健康生活の基本的な事柄をわかりやすく教えていただき改めて姿勢に意識して生活していきたいと思いました」「日常的に姿勢を意識していると高齢になっても姿勢が良い、前を向いてかかとから着地して歩くよう頑張ります」

### 講座10「日本遺産と炭・鉄・港」

「日本遺産の狙い、特にストーリー性と地域振興の点が良くわかりました。個人が『夢』をもって昔のことを考え、語らいあうためにもストーリー性は重要だと思います」「旧長野商店が石狩文化遺産とは知りませんでした。機会がありましたら是非現物を見たいと思います。他にも石狩市に防風林もあるとのこと。歴史を感じました」「これから観光客として行き、見る時、視点も今までとは違っていくと思います」

### 講座12「北海道農業と私たちの暮らし」

「各種データに基づく内容で勉強になりました。先生の人間性を惜しみなく出しての講義は良かったです」「北海道と石狩の良い所、北海道農業全体について目を向かせてくれた」「農業と政治が密接な関わりについて分かり易く解説いただき、国際貿易と農業の関係が理解できた。私たちの生活との関連も興味深かった」「日本における農薬使用量が国際比較して多いのにビックリしました。農薬の危険性を改めて認識しました。殺虫剤、除草剤等の農薬の特徴、人体に与える影響など新しい視点ができました」

### 講座3「縄文遺跡群の世界遺産登録と石狩市の遺跡」

「考古学はもっと難しいものと思っていました。人間の知恵はすごい。古代からその時代時代で住みやすく工夫し、現代に住む私たちは快適に暮らしているのですね。嬉々として土器を探している越田先生を想像して楽しくなりました。＊コロナ禍で市民カレッジを開いて下さって本当にありがとうございます。外に出られて、受講出来て嬉しいです」「世界遺産登録の実現を強く願っています」

### 講座1「アイヌ語地名と北海道」

「先生の講座を楽しみに待っていました。特に、石狩・厚田等の地名に納得しました。暮らしが先で地名ができた訳も、興味がありました。地名を日本語に改めた件も」「アイヌの人々の名前の付け方がその土地の特徴、状況を表していることも感じられました」「本当にありがとうございました。とても楽しく参考になりました。また、いつかお話を聞きたいです」

### 講座5「人生100歳時代～100年人生を有意義に生きるために」

第1回「100歳時代と言われるけれど、朝倉先生のお話しぶり、年齢を感じさせない姿勢・話し方に感服しました。本日の話題は、今の私達に最も身近な問題でしたので興味深く拝聴しました」第2回「高齢・超高齢になることは悪いことばかりではないということでも少し安心。健康寿命を長く保つことでまだまだ若い人達への助言や手助けができるのではないかと思います自分自身の努力が必要だと考えています」第3回「理解し易く聞き易く有意義な時間でした。ありがとうございました。2回の講座楽しく頭の整理になり良かった。前向きな気持ちになれる明るいお話が良かったと感謝しています」

### 講座13「ニュースの裏側」を知ろう！

「私は今まで世の中の動きを見るのに、新聞・テレビの報道を100%とは言わずとも大体は信じて見ていました。しかし今日のお話を聞いてもっと深くよく考えて報道を見なければいけないと思いました、この力をどのようにして身につけたらよいかわかりません。ポーっとして生きてはいけないと思う」



チョコっと  
いしかり学

《14》

## 石狩遺産について ～海岸草原という奇跡～

石狩遺産プロジェクトM会長 安田 秀司

石狩遺産の目的のひとつに「地元の価値の再発見」がありますが、石狩遺産5号の「石狩海岸の自然」はまさに「地元でありながら認識されていない超一級の宝物」の代表です。石狩海岸の一番の凄さは一言で言うと「海岸草原が広範囲にある」ことです。例えば「はまなすの丘公園」のヴィジターセンター2階のテラスから公園を眺めると、海岸草原が46ha広がっている様子を一望できるのですが、これを目にした専門家が「おおっ！」と声を上げる姿を私は何度も目撃してきました。

植生に関し環境省が定める「人の手の加わりなさ」を示す指標に「植生自然度」というものがあり、その最高ランク10が「自然草原」で、面積は国土の約1%にすぎません。その自然草原はさらに細分化され、湿原や高山植物帯、そして「海岸草原」があります。それは国土のわずか0.1%以下。極めて貴重な植生なのです。石狩湾新港から石狩浜海水浴場にかけての海沿いに一見つまらない草原がえんえんと広がっています。しかし、これが専門家垂涎の「海岸草原」であり、彼らが言う「国立公園レベルの自然」なのです。また、世界自然遺産「知床」のほとんどを占める自然林は植生自然度9なのですが、希少性から「海岸草原」がそれを凌駕しています。まさに石狩市民が誇るべき自然であり、それが大都市近郊に存在することは奇跡的なことなのです。



## 石狩の不思議 ～ 花川にある山「紅葉山」

石狩市民が毎日眺める山は手稲山（1023M）でしょう。逆に手稲山から石狩方面を眺めるとほぼ平坦な石狩平野が広がり、直線的な石狩川と旧石狩川の大きく蛇行した茨戸川を眺めることができます。ここに昭和56年の水害の写真があります。花川東から札幌方面の農地原野はすっかり水没していますが、現在の紅葉山茨戸通りに沿った微高地の地形が水害から逃れていました。紅葉山砂丘です。6000年前までは古石狩湾の海岸線がここまで迫っていて、水際の丘では縄文人が狩猟生活を営んでいたことが遺跡の発掘から明らかになっています。



ここでいう紅葉山という山はどこにあるのか。紅葉山砂丘の最高点が地図上にあり17.6Mの三角点に紅葉山と記載されています。残念ながら自衛隊演習地の中で立ち入ることはできませんが、紅葉山砂丘の縁にある紅南公園の丘から砂丘地形を眺めることができます。花川・花畔地区は砂丘に守られているマチだということを知っていましたか。

※ 紅葉山砂丘はプロジェクトM  
石狩遺産002号を参照

【写真 川の博物館資料より】

【森 幸二】

## 編集後記

あい風通信1面に「学び」のロゴがあります。「学ぶ」ことについては江戸時代の儒学者佐藤一斎が「言志四録」で「少にして学べば、則ち…」にはじまり、少年そして壮年時の「学び」の意義について述べ、最後に「老いて学べば、則ち死して朽ちず」と述べています。老年になっても学んでいけば、見識も高くなり、より多く社会に貢献できるから死んでもその名は朽ちることはないと言っています。何よりも、学ぶことは脳を活性化し、老化防止に役立つのです。(MT)



### ■ 発行

いしかり市民カレッジ運営委員会  
編集担当: 鈴木、石井、太齋、徳田、西

### ■ お問い合わせ 石狩市公民館

石狩市花川北6条1丁目42 TEL&FAX: 0133-74-2249  
ホームページ [いしかり市民カレッジ](#) [検索](#)